

柳井医療センター だより

令和7年 4月

〈発行所〉
国立病院機構
柳井医療センター
〈発行責任者〉
宮地 隆史

ご挨拶 院長 宮地 隆史

新年度を迎えるにあたりご挨拶させていただきます。

当院では2025年3月末で定年退職、任期満了、他の国立病院機構病院への配置換えなどにより約30名の職員が移動になりました。当院での在籍期間は様々ではありますがすべての方が熱心に当院で勤務していただき感謝するとともに次の場所での活躍を祈念しております。一方、4月から新たに多くの職員を迎え入れることができました。今後、地域の皆様方とお会いする機会もあると思いますので引き続きのご支援よろしく願いいたします。

また当院では2025年2月にMRI機器を更新いたしました。1回の撮影時間も短くなりより多くの患者さんに快適にご利用いただけたと思います。近隣の先生方にもぜひご活用いただければと思います。今後は症状のない住民の方々を対象にしたMRI検査、頸動脈超音波検査、脳波検査、血液検査、認知機能検査などを組み合わせた脳ドックにも取り組む予定です。脳を守ることはとても重要であり症状のない時期から定期的な脳健康チェックに貢献できればと思います。

2025年度にも認知症や難病など含め多くの研修会を企画しています。10月頃には第11回柳井医療センター公開講座を開催予定です。昨年度は周防大島町に伺わせていただき公開講座を開催し多くの町民の方にご参加いただきました。今年度も地域に伺い、昨年度同様、二部構成で企画し、第一部：腎不全（腹膜透析など）、第二部：脳神経疾患（頭痛や認知症、難病など）とし、当院での医療の特徴をぜひ皆様に知っていただき健康管理の一助になればと思います。気になる症状などあればぜひ当院をご利用いただければと思います。

当院では引き続き、一般脳神経疾患、難病診療分野別拠点病院として神経・筋難病疾患、地域型認知症疾患医療センターとして認知機能障害疾患、腹部救急、慢性腎臓病（CKD）啓発、血液・腹膜透析疾患、重症心身障害児（者）に対する医療および地域から求められる医療を推進して参りますので、新年度もどうぞよろしく願いいたします。



理念

- 一 良質の医療を提供します
- 一 素晴らしい療養環境を提供します
- 一 患者満足度の向上に努めます
- 一 職員満足度の向上に努めます

新任医師の紹介



外科 **板本 進吾**

今年度より柳井医療センターで勤務させていただくことになりました、外科の板本です。至らないところは多々あるかと思いますが、地域の方に寄り添った医療を提供できるよう努めてまいりますのでよろしくお願い致します。

新任職員の紹介



看護部長 **竹山 淳子**

この度看護部長の職を拝命し、4月1日付で着任致しました竹山と申します。職員がいきいき働き、患者さんやご家族にとって安心していただける環境であるよう、看護部の理念「いのちをつなぐ、こころをつなぐ看護」を実践して参りたいと思います。微力ながら精一杯努めたいと思っております。みなさまどうぞよろしくお願い申し上げます。



薬剤科長 **堀田 修次**

このたび、四国がんセンターより赴任いたしました、堀田修次と申します。患者中心の良質で安全な医療の提供に貢献できるようスタッフと協力してまいります。不慣れなことも多々あり、至らない点も多いと思いますが、できるだけ早く業務に慣れ、貢献できるよう努力いたしますので、どうぞよろしくお願い致します。



管理課長 **中村 卓記**

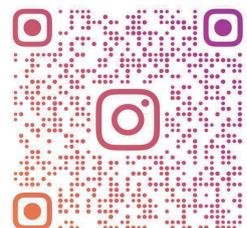
関門医療センターから赴任した管理課長の中村です。敷地内の桜に懐かしさを感じながら3度目の柳井医療センターでの勤務となります。引き続き皆様には業務へのお力添えのほどよろしくお願い致します。

令和7年4月より  柳井医療センターの

Instagram

始めました！

当院の情報を随時発信していきたいと思っておりますので、ぜひみなさまフォローをお願いします。



NHO.YANAI

MRI装置を更新しました



放射線科
撮影透視主任
桂 健太郎

検査精度の向上と安心して検査を受けていただけるよう、令和7年3月3日にMRI装置を更新しました。

新しい装置はキャノンメディカルシステムズのVantage Elan (1.5テスラ) です。この装置の特徴は、静音化技術で静かな検査環境が提供できます。そして高速撮像技術で画質劣化を抑えながら撮像時間が大幅に短縮できます。そのことにより患者さんの負担を軽減し、高精度な画像を得ることができるようになりました。また1日に対応できる検査数が増え、お待たせする日数が短縮されました。

当院では認知症や脳梗塞などの診断のために脳神経の検査が多いですが、コイル(体内からの信号を受信する装置)を変更することにより、下記の検査が対応可能です。

脊椎・脊髄の検査	椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症など
整形外科の検査	骨や軟部組織の骨折や腫瘍
関節の検査	膝や肩などの靭帯損傷や炎症
腹部の検査	肝臓、腎臓、脾臓などの内臓の腫瘍や炎症
骨盤部の検査	子宮、卵巣、前立腺、膀胱などの腫瘍
血管の検査	動脈瘤や血管狭窄



ただし当院はMRI対応植込み型不整脈治療デバイス患者のMRI検査の施設基準および実施条件を満たしていません。また水頭症治療用シャントのバルブの圧およびプログラム式植込み型輸液ポンプの設定が行えません。該当の患者さんの検査が行えませんのでご了承ください。

地域医療連携室コーナー

紹介患者さまについて

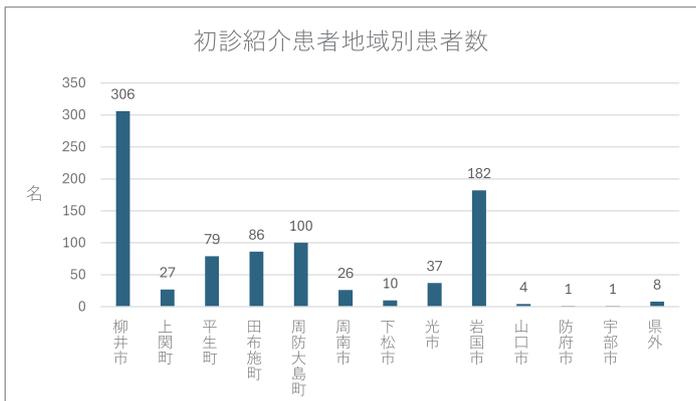
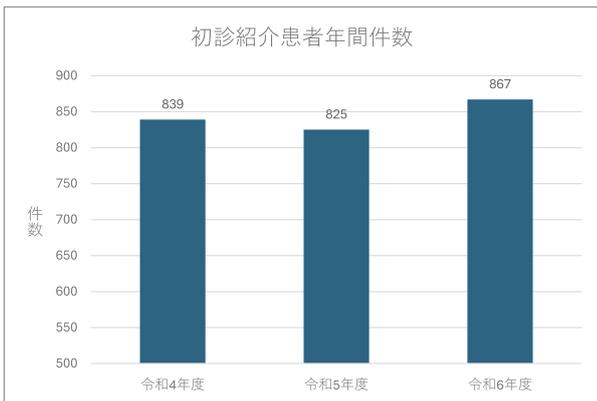
開業医の先生方におかれましては患者さまをご紹介いただきありがとうございます。

2024年度の紹介患者数についてご報告させていただきます。

今後も引き続きご紹介の程、よろしくお願いいたします。また、ご紹介の際には事前予約にご協力をお願いいたします。

紹介率(%)

令和4年度	令和5年度	令和6年度
85.3	86.0	78.3



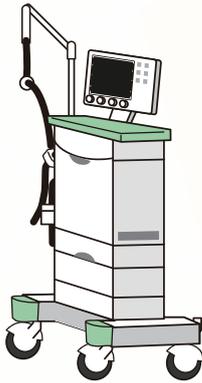
難病交流会を開催しました

昨年度、治療選択に直面し、「侵襲的人工呼吸器（以下TPPV）を装着した場合、どのような生活になるのか」「どのような在宅サービスを利用しているのか」「TPPVをつけるまでどのように気持ちの整理を行ったのか」など患者さんからの声が寄せられました。そこで2月7日、実際にTPPV装着し在宅療養をされている日本ALS協会山口県支部の福島雅弘支部長をお招きし患者さんとの交流会を柳井健康福祉センターと共催しました。

患者・家族、その支援者を含め20名の参加者と交流を図りました。患者さん同士で生活の工夫を共有し、福島会長へは人工呼吸器装着までの思いや療養環境、生活について質問が飛び交いました。日頃目にすることない文字盤を使用しての会話に医師会の先生は自ら体験されておられました。参加者からは色々な情報が聞けて知識が増えてよかつ

たがこの地域は資源が不足していると感じたとの声がありました。

「関係者に何かを聞いたときに「知らない」と言われても「どうすればいいか」と深く尋ねて欲しい。質問することでぐいぐい支援者の力を高めて欲しい。そうすることでお互いに協力者として体制を作れる。福島支部長は手続き・研修会などをブログ～発信しておられる。周りの人の力を借りてください。」とアドバイスがありました。今回、貴重な機会を設けることができ関係者のみなさまありがとうございました。



日本ALS協会山口県支部福島雅弘会長とご家族



文字盤でのコミュニケーション体験中

認知症疾患医療センターコーナー

2024年度 認知症疾患地域医療連携協議会開催

令和7年3月12日(水)「2024年度 認知症疾患地域医療連携協議会」を開催しました。今回の協議会では、「認知症疾患医療センター実績報告」「各市町(1市4町)からの活動報告」「若年性認知症の居場所づくり」と「認知症の災害対策」について情報共有や意見交換を行いました。

「若年性認知症の方の居場所づくり」は、行政・地域包括支援センター・健康福祉センターの方々と年間を通して取り組んできたテーマです。認知症の人と家族の会の方々から情報提供をしていただいたり、実際に当圏域内で開催された若年性認知症カフェに参加して情報収集を行いました。また、やまぐち希望大使の方とご家族に会議に出席していただきカフェへの思いなどを語っていただきました。情報提供や当事者・ご家族からの率直な思いを聴き、その思いに近づける形で次年度若年性カフェを1市4町で協力して開催する運びで計画していくことを報告しました。また、さらなる居場所開拓に向け、連携病院の作業療法士による支援や介護保険サービス内での利用調整について意見交換を行いました。

「認知症の災害対策」では、「市町村が個別に避難行動要支援者と具体的な打ち合わせを行いながら、個別計画を策定することが望まれる(※避難行動要支援者の避難行動支援に関する取り組み指針)」ことが制度として位置づけられているがなかなか進んでいない現状があります。そうした中、情報共有のツールとして既存のお薬手帳を活用できないかということで、柳井薬剤師会の会長より「お薬手帳の活用のポイント」について情報提供していただきました。ポイントとして①新しい情報を貼付する②副作用・アレルギー・既往歴を記載する③古いお薬手帳も活用する④最終頁(通院医療機関、私の情報、担当ケアマネージャー等)を活用することのアドバイスがありました。参加者からは、「処方内容を確認することはあるが最初頁や最終頁の確認までは行っていなかった。今後の活用について周知していきたい」との感想をいただきました。また災害時、薬はすぐに現地に届かないこと、以前は大量に薬が届き混乱を招くこともあり、現在は管理された状態で届くためお薬手帳の最新情報は欠かせない状況となっているようです。

昨年度の活動を今年度も継続するとともに、いただいた様々な地域課題に対する意見を一つ一つ対応・解決できるよう、活動をしていこうと思います。認知症を有する方・そのご家族が安心して地域で過ごせるよう今年度も務めていきたいと思っております。

多忙の中、ご参加いただきました関係機関の皆様、ありがとうございました。

今後ともご支援・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

病院の統計

一般病床204床、療養介護病床76床

【紹介率】

単位：%

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計平均
R5	88.8	79.8	80.0	92.9	82.8	92.4	86.1	82.6	92.0	91.3	81.2	87.8	83.6
R6	87.9	87.0	75.7	82.0	68.6	78.0	82.0	73.7	81.6	75.0	75.3	80.6	86.1

年 月	当院平均 患者数(人)			紹介患者数(人)
	入 院		外 来	
	一 般	療養介護		
R7.2	194.6	75.2	63.3	67
(R6年度計)	190.8	74.4	60.3	850

外来診療担当表

内 科		月	火	水	木	金	備 考
		—	まつもと のぶお 松本 信夫	—	まつもと のぶお 松本 信夫	まつもと のぶお 松本 信夫	要 予 約
脳神経内科	初 診	みやち たかふみ 宮地 隆史	ふくば ひろまさ 福場 浩正	にしがわ ともかず 西川 智和	やまさき まさみ 山崎 雅美	やまもと ゆみこ 山本優美子(隔週)	要 予 約
		いまむら えいじ 今村 栄次				やまもと ふみか 山本 史佳(隔週)	
	再 診	にしがわ ともかず 西川 智和	やまもと ゆみこ 山本優美子	みやち たかふみ 宮地 隆史	みやち たかふみ 宮地 隆史	ふくば ひろまさ 福場 浩正	
		ふくば ひろまさ 福場 浩正	—	いまむら えいじ 今村 栄次	にしがわ ともかず 西川 智和	やまさき まさみ 山崎 雅美	
外 科	初 診	いたもと しんご 板本 進吾	たけもと まさひろ 竹本 将彦	すみもと りょう 住元 了	まつおか こうじ 松岡 功治	まつもと とみお 松本 富夫	火・木曜日 午後手術日
		もりうち としゆき 森内 俊行	もりうち としゆき 森内 俊行	—	すみもと りょう 住元 了	—	
	再 診	たけもと まさひろ 竹本 将彦	まつもと とみお 松本 富夫	—	たけもと まさひろ 竹本 将彦	まつおか こうじ 松岡 功治	
		—	—	—	—	いたもと しんご 板本 進吾	
腎 臓 内 科					ふくだ まさみち 福田 雅道		第3週
整 形 外 科				ふじた こうじ 藤田 貢司	たけだ こうじ 武田 光司		第1・2・4週
循 環 器 内 科		みやもと しょうご 宮本 翔伍		きなた りゅうへい 真田 竜平			
呼 吸 器 内 科			かわもと かずま 川本 数真			わたり なおかず 渡 直和	
肝・胆・膵・消化器科		おおの あつし 大野 敦司					
糖 尿 病・内 分 泌 内 科						おおの はるや 大野 晴也	
内 視 鏡		まつもと のぶお 松本 信夫		まつもと のぶお 松本 信夫		第1・3週 まつおか こうじ 松岡 功治	要 予 約
		まつおか こうじ 松岡 功治		まつおか こうじ 松岡 功治		第2・4週 しょうひら ゆづすけ 上平 祐輔	
皮 膚 科			かみがき りな 神垣 里菜				隔週
			なまきり けんと 名桐 研人				隔週
泌 尿 器 科		しくま ひろゆき 志熊 紘行					午後のみ

は招聘医師

令和7年4月1日現在

腹部救急診療

24時間365日体制で診療しています。

対象患者

激しい腹痛、心窩部痛、
側腹部痛、腰痛、肛門会陰部痛、
鼠径部痛、下血症例



救急担当医は次のようになります。(※時間外の体制)

	月	火	水	木	金	土	日
担当医	板本	松岡	松本(當)	竹本	当番外科医	当番外科医	当番外科医

※消化器外科医が病院内に24時間365日常駐しています。

CT・MRIの検査予約を受付けています

当院では、CT及びMRIの検査予約を行っています。
下記の連絡先に予約を申し込んでください。放射線専門医
による読影結果は FAX 及び郵送にてお届け致します。撮影
画像はCD-Rで患者様にお渡し又は郵送致します。
(至急依頼の場合の検査報告は検査後2時間ほどで出ますの
でFAX後、郵送致します。)

CT・MRIの予約受付先

国立病院機構柳井医療センター放射線科受付
担当者 山本(やまもと)

電話:0820-27-0211 内線538または229

※なお、FAXでの申し込み及びその他の診療予約については地域医療
連携室へ申し込んでください

